

C B I 研究機構 量子構造生命科学研究所  
中性子産業利用推進協議会 生物・生体材料研究会  
合同シンポジウム開催案内

「神経疾患の分子メカニズム最先端」

」

主催：C B I 研究機構量子構造生命科学研究所、中性子産業利用推進協議会、  
(一財)総合科学研究機構(CROSS)

協賛：茨城県、J-PARC MLF 利用者懇談会

1. 開催日時：2024年9月19日(木) 13:00~17:05

2. 開催方法：ZOOMによるオンライン開催

<接続 URL は 9月 11日頃にお知らせする予定です>

3. 参加費：無料

4. 開催趣旨：神経変性疾患は、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病など、神経細胞が徐々に機能を失い、最終的には死に至る。これらの疾患は、超高齢化社会において、その発症率は激増し、患者とその家族にとって、大きな負担となっている。本シンポジウムは、最新の研究成果や治療法の開発状況を共有し、これら疾患の根本治療に向けて、新たなアプローチを探求する最前線にたつ先生方にご講演いただくこととした。本シンポジウムが神経変性疾患に対する理解を深め、新たな治療法の創出にむけて、産業界、学界それぞれで、ぜひ今後のご研究の一助となることを心より願っております。

5. プログラム (敬称略)

13:00-13:05 開会挨拶、開催趣旨説明

CBI 研究機構量子アカデミア構造生命科学研究所長/中性子産業利用推進協議会 生物・生体材料研究会主査 上村みどり

司会 上村 みどり

13:05-14:00 「精神・神経疾患の治療薬のスクリーニング系の開発とシーズ探索」

貝淵弘三 (藤田医科大学 精神・神経病態解明センター  
センター長)

14:00-14:45 「神経再生過程におけるニューロンの移動メカニズムと再生医療への応用」

澤本和延 (名古屋市立大学大学院医学研究科 脳神経科学)

研究所 神経発達・再生医学分野)

14:45-15:30 「相分離異常によって生じる神経変性疾患の分子病態」

森英一朗 (奈良県立医大医学部 未来基礎医学  
(株) モルミル)

司会：玉田 太郎

15:30-16:15 「神経再編を促す細胞・分子機構の探索」

上野将紀 (新潟大学脳研究所 システム脳病態学)

16:15-17:00 「Diosgenin によるアルツハイマー病脳内での軸索修復作用と  
臨床研究への展開」

東田千尋 (富山大学 和漢医薬学総合研究所 神経機能学  
領域)

17:00-17:05 閉会の辞

佐藤衛 (横浜市立大学 名誉教授/CROSS/中性子産業利用推進  
協議会 構造生物学研究会主査)

6. 申込方法： 以下の申込フォームからお申込み下さい。

<https://forms.gle/aSVyhQfcGgtdQVbV9>

※ご入力いただいたメールアドレスにお申込み確認のメールが自動的に送信されます。

返信が確認できない場合、あるいは、上記申込フォームが利用できない場合には、  
ご所属、お名前、E-mail アドレス を本文に記して、中性子産業利用推進協議会まで  
E-mail (アドレスは下記) でお申込みください。

7. 参加申込締切： 2023 年 9 月 10 日 (火)

<問合せ先> 中性子産業利用推進協議会 (略称：IUSNA)

〒319-1106 茨城県東海村白方 162-1 いばらき量子ビーム研究センター D201

TEL：029-352-3934 FAX：029-352-3935 (火曜日と木曜日のみ勤務)

E-mail: [info@j-neutron.com](mailto:info@j-neutron.com)

8. Zoom 接続情報

<接続 URL は 9 月 11 日頃にお知らせする予定です>

9. アンケートのお願い

次回以降の開催の参考とするため、本研究会終了後にアンケートをお願いしています。  
ご協力をお願いいたします。

以上